

2010年5月22日

大学用教科書「環境教育」（教員養成課程、共通教育科目対応）刊行趣意書

日本環境教育学会
大学教科書作成ワーキング・グループ

1. 大学教科書の刊行決定の経緯とワーキング・グループの発足

日本環境教育学会は、発足から20周年を迎えた2009年度の事業方針において、「学会活性化ワーキング・グループを発足させる」（第9項）とともに、「環境教育の普及のために教材開発や教科書の作成に着手する」（第13項）ことを掲げた。このたび刊行を目指す大学用教科書「環境教育」（教員養成課程、共通基礎科目対応）は、この事業方針に基づく日本環境教育学会としての企画である。

最初に手掛ける対象を大学用教科書に定めたのは、2009年12月に発足した学会活性化ワーキング・グループの初回の会合において、「環境教育の普及には、特に初等中等学校教員への環境教育の浸透が不可欠である。そして、教員への環境教育の浸透のためには、大学における教員養成段階や教員研修時に環境教育を学ぶ機会がより多く設けられる必要があり、そのためには質の高い定番と言える教科書が必要」という意見に大方の賛同が得られたことがきっかけとなっている。この学会活性化ワーキング・グループの議論を受けて、2010年2月に開催された日本環境教育学会常任運営委員会で大学用教科書「環境教育」の早期刊行を目指すことが確認され、同年3月の運営委員会において、阿部会長を代表とする合計9人からなる大学教科書作成ワーキング・グループが発足した。なお、本企画の出版については、教育出版より内諾を得ている。

2. 大学用教科書「環境教育」の概要（案）

現在構想している大学用教科書「環境教育」のページ数は以下のとおり。

ページ数：A5判総220ページ

内訳：目次+まえがき+あとがき：8ページ

@12ページ×15章=180ページ、

巻末付録：32ページ

3. 刊行スケジュール

2010年6月～ 全体の構成および執筆陣に関する意見聴取（学会ウェブで明示）

2010年7月末 目次および各章と付録の内容概略および執筆担当者の決定、執筆依頼

2010年11月末 原稿締め切り

2010年12月～ 編集委員会での検討と執筆者への加筆修正依頼

2011年2月 出版社への入稿

2011年7月 刊行、販売開始